

産業建設常任委員会記録

平成27年12月16日

【開催日】 平成27年12月16日

【開催場所】 第2委員会室

【開会・散会時間】 午前11時12分～午後0時14分

【出席委員】

委員長	中村博行	副委員長	長谷川知司
委員	伊藤 實	委員	杉本保喜
委員	松尾数則	委員	山田伸幸

【欠席委員】

なし

【委員外出席議員等】

なし

【執行部出席者】

水道事業管理者	岩佐謙三	水道局次長兼総務課長	原田健治
水道局工務課長	伊東修一	水道局業務課長	伊藤清貴
水道局浄水課長	西山洋治		

【事務局出席者】

局長	古川博三	庶務調査係主任主事	梅野貴裕
----	------	-----------	------

【審査事項】

1 水道事業広域化について

午前11時12分開会

【議事の概要】

- ・ 7月10日に宇部市・山陽小野田市水道事業広域化基本計画策定業務委託の契約を締結した。契約締結後に受託者であるコンサルタントと協議をしながら基本計画策定の作業を進めている。
- ・ 11月25日に総務大臣と厚生労働大臣宛に陳情書を提出した。総務省に

対しては水道事業広域化への財政支援の創設について。厚生労働省に対しては現行の水道事業広域化の補助要件の緩和をそれぞれ要望している。

- 基本計画策定業務については、11月末までに整理する予定だったが作業全般に対して現在の進捗状況が約6割程度である。業務が遅れている主な理由として、現況把握に伴う調査項目の分析に時間を要したことや調査項目が増加したことなどが挙げられる。
- 将来的には広瀬浄水場1系、中山浄水場、高天原浄水場の浄水能力相当の水量が余剰となるということが考えられるため、七つのケースに分類した浄水場統廃合案を検討している。
- 2月中旬には第2回検討委員会を開催し、その結果を3月市議会定例会の産業建設常任委員会でお示ししたい。

【主な質疑】

中村博行委員長 もちろんスピードは大切だが、よりよい方法を探っていたきたい。

山田伸幸委員 一日最大給水量が減少している最大の理由は何か。

原田水道局次長兼総務課長 人口の減少と節水機器の普及が考えられる。

山田伸幸委員 大口関係の減水はどうか。

伊藤水道局業務課長 大口の工場の減水も大きな要因として挙げられる。

伊藤實委員 統廃合の関係で、逆に給水量が増えるということも考えられる。

万が一給水量が増えても対応できるライン、安全率は何割くらいを目安に設定しているのか。

原田水道局次長兼総務課長 水道局が必要とする水量というのは将来予測される数値だけで決めるものではなく、インフラとして市全体の将来計画に基づいた水量を確保しなければいけないので、それを何割という数値で示すのは難しい。

伊藤實委員 水が足りなくならないよう、しっかりと検討すべきだと思う。また、例えば一つのダムで水質等に問題が発生した場合には別のダムや水系から補填する必要がある。水量や財政面で統廃合を判断するとその辺がおろそかになるのではないかと危惧するが、どう考えているのか。

岩佐水道事業管理者 厚狭川で水害が発生したときは、二つの水系があったので厚東川水系から送ることができた。全体のバランスを考えると大変難しい宿題である。

伊藤實委員 水道料金や老朽管の改善等、将来的な設備投資についてはどう考えているのか。

岩佐水道事業管理者 アセットマネジメントについては、宇部市は終わっているが山陽小野田市は現在進行中であり、水道料金も違う。広域化した場合と単独の場合を比較して財政面でもメリットがあるという結論を出さなければいけない。

山田伸幸委員 高天原と鴨庄は設備の能力に対して、どのくらいの率で給水しているのか。

原田水道局次長兼総務課長 高天原、鴨庄共に稼働率は六十数%だったと思う。

松尾数則委員 いろいろなメニューが加わったことで中間報告が遅れたということなのか。

岩佐水道事業管理者 全体の捉え方の甘さ、スケジュールの甘さ、コンサルタントに掛けるときの我々側のオリエンテーリングの弱さ等々、総合的にこういう結果になったと思っている。

松尾数則委員 コンサルはうちが800万くらいだったと思うが、上がる可能性はあるのか。

原田水道局次長兼総務課長 予定価格が2,881万円で、宇部市と山陽小野田市は有収水量の水量比2.5対1で負担をするということで決めていた。日本水工設計株式会社が770万で落札したので、山陽小野田市の税抜き負担額が823万円から220万に下がった。負担額は宇部市550万円（税込594万円）、山陽小野田市220万円（税込237万6,000円）である。

長谷川知司副委員長 浄水場を統廃合したときに跡地をどうするかということも同時に考えていただきたい。

中村博行委員長 次は陳情について。

岩佐水道事業管理者 久保田宇部市長、和田宇部市上下水道事業管理者と私で厚生労働省と総務省へ陳情に行ったが、大変残念な結果になった。

山田伸幸委員 全国市長会や県知事会のような団体に対して、市長から申入れ等の活動はされていないのか。

原田水道局次長兼総務課長 平成27年度に宇部市と山陽小野田市の両市長が共同で山口県市長会に議案を提出した。これについては水道事業の広域化推進に対する財政支援体制の確立についてということで、それぞれ市長会に同じ内容の提案をされており、10月に中国地方の総会でこの提案をされている。

午後0時14分散会

平成27年12月16日

産業建設常任委員会委員長 中村博行